

第9回社会実験イベント 実施報告

開催名称：灯りをともそう！ライトアップわくわく駅伝 2024

世界アルツハイマーデーライトアップ駅伝 in 経塚公園

開催日：2024年9月21日（土）17:30～19:30

場所：経塚公園（〒901-2102 沖縄県浦添市経塚）

駅伝協力：浦添総合病院、自治会、介護・看護支援事業所、地域の協力店、認知症当事者の方とその家族など

主催：浦添市地域包括支援センターさっとん

開催協力：グリーンハイツ自治会、グループホーム前田の家、小規模多機能前田の家、エバグリーン経塚、城間クリニック、相談支援事業所おりじん、ヘルパーステーションおりじん、ネイバーフッド&ソーシャルワーク、認知症の人と家族の会、家族の会顧問鈴木氏、WAKIMIZU（浦添中学校区第2層協議体）、沖縄銀行経塚支店、相談支援事業所ゆんたく、はびなす訪問看護、茶山自治会、浦添市社会福祉協議会、かんな商店、経塚自治会、経塚児童センター、経塚ゆいまーるセンター、ニュータウン自治会、前田自治会、仲間自治会、前田公務員宿舎自治会、平安病院、若竹福祉会、浦添総合病院、特別養護老人ホームありあけの里、ありあけの里居宅介護支援事業所、居宅介護支援事業所ライフサポート、浦添総合病院、うらそえぐすく児童センター、てだこ写真館、仲間ふれあい広場、メディライン居宅介護支援事業所、吉家弁当・天ぶら店、美容室ビューティービースト、前田ゆぶしが丘児童センター、郵便局（経塚・本店）、organize、浦添市介護福祉士会、ことぶき居宅介護支援事業所、つるかめ訪問看護ステーション、安波茶自治会、県営経塚団地自治会、ニュータウン美容室、みゆき美容室、わくわく沢岬学童、ゆいの子学童、アイスオアシス、小規模多機能あん、株式会社リウデン、ナカショウ株式会社、スポーツツーリズム沖縄、ゆいまあるてだこパートナーズ、亮園マネジメント合同会社、トキニライド、アカバナチャンネル、浦添市役所、UR都市機構、株式会社新産業文化創出研究所

浦添市では、公園を核としたまちづくりを推進しています。経塚公園はこれから数年かけて順次供用を開始する公園ですが、地域の課題解決や価値向上につなげることを目的とした「公園を核とした活動の推進」、「主体者の発掘・育成」、及び「多様な主体の連携による公園づくり」の推進のために、意見交換の場の設置（公園利活用連絡会（準備活動））や、実践の場として社会実験（イベント等）の推進支援を行っています。

第9回社会実験イベントは、浦添市地域包括支援センターさっとんが主催となり、地域と連携したアルツハイマー病（認知症）への理解を深めるイベントを実施しました。実施した9月21日は「世界アルツハイマーデー」として、世界中でアルツハイマー病に関する認識を高め、患者や家族に援助と希望をもたらすイベントが実施されています。

今までもさっとんでは、地域事業者の協力を得ながら認知症理解増進のためのライトアップを進めてきましたが、今年度は例年以上の規模の企画として実施されました。シンボルカラーのオレンジを基調としたタスキをつけたランナー（ウォーカー）が、「認知症になっても

安心して住める街・浦添」を目指して、浦添総合病院から協力事業所を回りながら経塚公園まで駆伝。駆伝の様子がインスタライブ配信されたのも、見どころの一つとなりました。

経塚公園は、出展やインスタライブ配信の中継、フィナーレ会場となりました。認知症見守りシステム普及も目的の一つでしたが、そのブースも設けられました。18時半ごろに、最終区間を走る駆伝ランナーが経塚公園に到着。地域の方とそのゴールを応援しました。松本市長も経塚公園に駆けつけ、ランナーと共にゴール。会場は多いに盛り上がりました。

経塚公園では、社会実験としての利用者（イベントや、実施してみたいサークル活動や小規模企画）を募集しています。また本イベントは、浦添市で実施している経塚公園利活用連絡会でも提案され、参加者より実施に向けた様々なアドバイスや物品貸与、ボランティア等の協力がありました。社会実験としてイベント実施したい方、イベント実施を応援したい方、経塚公園を活用した地域の健康づくり、活動づくりなどにご関心のある方は、是非、経塚公園利活用連絡会にもご参加ください。（社会実験、または経塚公園利活用連絡会にご関心のある方は、浦添市美らまち推進課までご連絡ください。）

<プログラム・イベント全体>





<ブース・キッチンカー>



以上